

タイトル「2021年度スポーツ科学部(公開用\_コロナ対策版)」、フォルダ「スポーツ科学部」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4607		
科目名	卒業論文		
担当教員	益子 俊志		
対象学年	4年	開講学期	通年
曜日・時限	月 5		
講義室	1316	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	8
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-G[状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、及び自分が所属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>DP3-H[論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>DP4-F[探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP5-J[創造的挑戦力・達成力] コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンプリック (C R) との関連 F1探求と論拠-20% G1状況把握-15% H1論理的思考-25% I2量的分析-15%、I3情報分析-15% J2創造的思考-10%</p>		
教員の実務経験	担当教員は日本スポーツ協会公認コーチ資格を有し、大学・社会人チームの監督コーチを経験してきました。担当科目では在職中の経験等の話も交えながら、コーチング理論を日常生活 (キャリア形成) や健康・スポーツ現場での実践や研究ができるよう、これまでの知見と経験を活かした授業を行います。(第5回、第6回)		
成績ターゲット区分	<p>■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期~4 定着期</p>		
科目概要・キーワード	<p>本学科での4年間に渡る経験を基に、各学生の興味関心の高い体育スポーツに関する幅広い学問領域を踏まえながら卒業論文としてまとめることを目的とします。文献や資料を正確に調べ、指導教員や受講生と討論を重ねながら、学生自身の課題を深化させていきます。そして卒業論文提出までに定期的な報告会を設定し、1年を通して卒業論文をまとめていきます。授業形態は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業 (ライブ配信型) を取り入れます。</p> <p>■キーワード文献精査、研究、反省の実践</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 スポーツ科学に関する4年間の研究成果</p> <p>■授業の目的 4年間で学習した内容を基に自身で研究課題を設定しこれまでの講義・演習で学んだ研究方法を用いて計画の立案から実践まで行い、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、論文としてまとめることができることを目的とします。</p> <p>■授業のポイント これまでの演習やゼミナールで学習した研究方法を用い、得られた知見からコーチング学考察・観点を加え、その成果を研究論文にまとめ発表を行います。</p>		
総合到達目標	<p>■コーチング学の研究についてその研究計画を立案、作成し、それに基づき計画を実行するために、さらに結果の考察までを論文としてまとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との議論を積極的に行い、自身の研究内容を吟味し、論文に反映することができる。(3~12回)</li> <li>・他競技とのコーチングを比較し、自身の研究内容に反映することができる。(3~27回)</li> </ul>		
成績評価方法	<p>■レポート (研究発表資料等) 2回 (20%) F 1、H 1、I 2、I 3、J 2 (評価の観点) 研究テーマを踏まえて論理立てて研究内容や自分の考えを示せるか評価します。 フィードバック方法) 授業時間中に「講評」を行います。</p> <p>■実技・パフォーマンス (プレゼンテーション等) 8回 (20%) F 1、H 1、J 2 (評価の観点) 自身またはグループの研究実践経過および結果を定例的 (月1回) に発表し、その内容について評価するとともに、最終成果として作成したプレゼンテーション内容について評価します。 (フィードバックの方法) 各パフォーマンス後に「講評」を行います。</p> <p>■リアクションペーパー15回 (10%) G 1、H 1、J 2 (評価の観点) 他者の発表に関しての肯定的、批判的な内容を含む講評をリアクションペーパーの記載という形式で記載しその内容の評価を行います。 (フィードバックの方法) 授業時間中に「講評」を行います。</p>		

■卒業論文1回(50%) F1、H1、I2、I3、J2  
 (評価の観点) 指導教員とのやりとりを踏まえて作成された論文の内容について評価します。  
 (フィードバック方法) 論文提出後、個別に面談を行います。

履修条件	ゼミナールⅠ[SSCS4605],ゼミナールⅡ[SSCS4606]を履修していること			
履修上の注意点				
授業内容	回	内容	回	内容
	1	①授業テーマガイダンス ②授業概要卒業論文の進め方や評価について説明を行い、論文作成を進めていくための過程やその方法について理解し、卒業論文作成を通して何を学ぶかについて説明する。 ③予習(300分) ゼミナールでまとめた内容を再度確認する。シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習(300分) ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身で取り組む内容とスケジュールについて確認しておく。	16	①授業テーマ卒業論文完成にむけて ②授業概要前期授業内容および中間発表会を振り返り、自身で論文をまとめていく過程を整理する。 ③予習(300分) 前期授業内容および中間発表を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習(300分) 論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
	2	①授業テーマ研究計画検討 ②授業概要ゼミナールで検討された研究計画について発表を行う。(F1、G1、H1、J2) ③予習(300分) 発表内容の準備を行う。 ④復習(300分) 発表を振り返り、実行性ある研究計画になるよう必要な修正や改善を行う。	17	①授業テーマ本調査・分析 ②授業概要各自が立てた研究計画に従い、調査・分析を行う。(F1、H1、I2、I3) ③予習(300分) 予備調査結果、研究進捗状況報告、中間発表会から得られた知見をもとに、本調査に向けた日程調整や調査環境について精査する。 ④復習(300分) 本調査の改善点や問題点について振り返り確認する。
	3	①授業テーマ研究計画検討 ②授業概要発表の結果から必要な改善を行い、研究計画の再検討を行う。(F1、G1、H1、J2) ③予習(300分) 研究計画の問題点を整理し討議できるよう準備する。 ④復習(300分) 各自の研究計画に対する実行性ある改善策を計画する。	18	①授業テーマ本調査・分析 ②授業概要各自が立てた研究計画に従い、調査・分析を行う。(F1、H1、I2、I3) ③予習(300分) 本調査が円滑に進むよう問題がないよう事前に準備する。 ④復習(300分) 本調査の改善点や問題点について振り返り確認する。
	4	①授業テーマ卒業論文計画書作成 ②授業概要卒業論文の研究計画を決定する。(F1、G1、H1、J2) ③予習(300分) 前回の授業を踏まえ、研究計画を再検討する。 ④復習(300分) 調査・分析に向け必要なことやスケジュール等を確認する。	19	①授業テーマ本調査・分析 ②授業概要各自が立てた研究計画に従い、調査・分析を行う。(F1、H1、I2、I3) ③予習(300分) 本調査が円滑に進むよう問題がないよう事前に準備する。 ④復習(300分) 本調査の改善点や問題点について振り返り確認する。
	5	①授業テーマ予備調査・分析 ②授業概要立案された計画に沿って研究が可能か予備的に調査分析する。(F1、H1、I2、I3) 担当教員の実務経験を踏まえて内容と方法が適切かを重点的に講義します。 ③予習(300分) 予備調査が行えるよう予備調査計画を立てる ④復習(300分) 得られたデータに問題がないかを精査する。	20	①授業テーマ卒業論文の作成 ②授業概要卒業論文のテーマに沿って先行研究を詳細に調べ、論文の「緒言」としてまとめる。(F1、G1、H1) ③予習(300分) 研究テーマの先行研究について詳細に調べる。 ④復習(300分) 先行研究のまとめ方に問題がないかを詳細に確認する。
	6	①授業テーマ予備調査・分析 ②授業概要引き続き立案された計画に沿って研究が可能か予備的に調査分析する。(F1、H1、I2、I3) 担当教員の実務経験を踏まえて内容と方法が適切かを重点的に講義します。 ③予習(300分) 予備調査が行えるよう予備調査計画を立てる ④復習(300分) 得られたデータに問題がないかを精査する。	21	①授業テーマ卒業論文の作成 ②授業概要卒業論文のテーマに沿って「目的」や「方法」についてまとめる。(F1、G1、H1) ③予習(300分) 研究計画書に書かれた「目的」や「方法」がより具体的になるよう準備する。 ④復習(120分) 「目的」や「方法」のまとめ方に問題がないか確認する。
	7	①授業テーマ予備調査・分析 ②授業概要予備調査によって明らかになった問題点を改善し計画を立てる。(F1、H1、I2、I3) ③予習(300分) 得られたデータや調査環境等を振り返り問題点を抽出する。 ④復習(300分) 予備調査の結果を踏まえた計画書に問題点はないか確認する。	22	①授業テーマ卒業論文の作成 ②授業概要卒業論文のテーマに沿って「結果」についてまとめる。(F1、H1、I2、I3) ③予習(300分) 本調査から得られた結果について整理する。 ④復習(300分) 「結果」のまとめ方に問題がないか確認する。
	8	①授業テーマ研究進捗状況の報告と議論 ②授業概要予備調査で得られた研究内容を発表し議論を行う。(F1、G1、H1) ③予習(300分) 予備調査で得られた結果についてまとめ発表の準備をする。 ④復習(300分) 議論した内容をもとに、問題点がないか先行研究等にあたり研究内容を精査する。	23	①授業テーマ卒業論文の作成 ②授業概要卒業論文のテーマに沿って「結果」についてまとめる。(F1、H1、I2、I3) ③予習(300分) 本調査から得られた結果について整理する。 ④復習(300分) 「結果」のまとめ方に問題がないか確認する。
	9	①授業テーマ研究進捗状況の報告と議論 ②授業概要予備調査で得られた研究内容を発表し議論を行う。(F1、G1、H1)	24	①授業テーマ卒業論文の作成 ②授業概要卒業論文のテーマに沿って「統計処理や図表」が適切に扱われているか検討する。(H1、I2、

	③予習 (300分) 予備調査で得られた結果についてまとめ発表の準備をする。 ④復習 (300分) 議論した内容をもとに、問題点がないか先行研究等にあたり研究内容を精査する。	I 3) ③予習 (300分) 本調査から得られた結果から必要な統計処理と図表を整理する。 ④復習 (300分) 統計処理や図表のまとめ方に問題がないか確認する。
10	①授業テーマ研究進捗状況の報告と議論 ②授業概要予備調査で得られた研究内容を発表し議論を行う。(F 1、G 1、H 1) ③予習 (300分) 予備調査で得られた結果についてまとめ発表の準備をする。 ④復習 (300分) 議論した内容をもとに、問題点がないか先行研究等にあたり研究内容を精査する。	25 ①授業テーマ卒業論文の作成 ②授業概要卒業論文のテーマに沿って「統計処理や図表」が適切に扱われているか検討する。(H 1、I 2、I 3) ③予習 (300分) 本調査から得られた結果から必要な統計処理と図表を整理する。 ④復習 (300分) 統計処理や図表のまとめ方に問題がないか確認する。
11	①授業テーマ中間発表準備 ②授業概要予備調査の結果や研究進捗状況報告の議論をもとに中間発表を円滑に行えるよう準備を行う。(F 1、G 1、H 1、I 2、I 3) ③予習 (300分) 予備調査の発表内容や研究進捗状況報告で話し合われた内容を確認する。 ④復習 (300分) 議論を踏まえ発表内容について問題点がないか確認する。	26 ①授業テーマ卒業論文の作成 ②授業概要卒業論文のテーマに沿って「考察」についてまとめる。(F 1、H 1、I 2、I 3、J 2) ③予習 (300分) 本調査から得られたデータや結果を総合して考えられる点について整理する。 ④復習 (300分) 「考察」のまとめ方に問題がないか確認する。
12	①授業テーマ中間発表準備 ②授業概要予備調査の結果や研究進捗状況報告の議論をもとに中間発表を円滑に行えるよう準備を行う。(F 1、G 1、H 1、I 2、I 3) ③予習 (300分) 予備調査の発表内容や研究進捗状況報告で話し合われた内容を確認する。 ④復習 (300分) 議論を踏まえ発表内容について問題点がないか確認する。	27 ①授業テーマ研究進捗状況の報告と議論 ②授業概要最終発表会にむけて、卒業論文によって得られた知見を発表し議論を行う。(F 1、G 1、H 1、I 2、I 3、J 2) ③予習 (300分) 本調査で得られた知見についてまとめ発表の準備をする。 ④復習 (300分) 議論を踏まえ発表内容について問題点がないか確認する
13	①授業テーマ中間発表会 ②授業概要自身で取り組む研究の経過について発表を行う。(F 1、G 1、H 1) ③予習 (300分) これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習 (300分) プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	28 ①授業テーマ最終発表会準備 ②授業概要本調査の結果や研究進捗状況報告の議論をもとに最終発表会を円滑に行えるよう準備を行う。(H 1、I 2、I 3、J 2) ③予習 (300分) 本調査の発表内容や研究進捗状況報告で話し合われた内容を確認する。 ④復習 (300分) 議論を踏まえ発表内容について問題点がないか最終確認する。
14	①授業テーマ中間発表会 ②授業概要自身で取り組む研究の経過について発表を行う。(F 1、G 1、H 1) ③予習 (300分) これまでの発表形式での授業を参考に伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習 (300分) プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	29 ①授業テーマ最終発表会 ②授業概要自身で取り組んだ研究について発表を行う。 ③予習 (300分) これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習 (300分) 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
15	①授業テーマ中間発表会の振り返り ②授業概要中間発表会を振り返り、自身の研究をまとめていくための討議を他者を含めて行う。(F 1、G 1、H 1、J 2) ③予習 (300分) 自身の発表内容および受け付けた質疑について確認しておく。 ④復習 (300分) 討議結果を振り返り、今後の課題や、方向性の修正などを行う。	30 ①授業テーマ最終発表会およびまとめ ②授業概要自身で取り組んだ研究について発表を行う。その後発表内容について講評を受ける。 ③予習 (300分) これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習 (300分) 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
関連科目	ゼミナール I [SSCS4605],ゼミナール II [SSCS4606]	
教科書	特に使用しません。	
参考書・参考URL	特に使用しません。	
連絡先・オフィスアワー	<b>■連絡先</b> 開講時に通知します。 <b>■オフィスアワー</b> 時間については事前の appointments によって対応します。	
研究比率		

